

【NEWS RELEASE】

01銀行株式会社の事業方針について ～「データでビジネスを応援する」事業者向けデジタルバンク～

01銀行株式会社（以下、01Bank）は、2025年2月28日に銀行免許を取得し、2025年7月28日に開業（お客さまへのサービス提供を開始する）予定です。この度、事業方針を公表いたしましたので、お知らせいたします。

1. 設立の背景・目的

経営環境が厳しさを増す中、中小事業者は、①人手不足・人材確保、②生産性向上、③受注・販売の拡大という3つの大きな課題に直面しています。

こうした中、中小事業者はSaaSを巧みに活用し、直面する課題解決に努力しています。すなわち、SaaS活用で、仕事を省力化し、人手不足を補い、生産性向上によりコストを圧縮して、新規先確保、既存先との関係性強化を図り、受注、販売の拡大に繋げています。

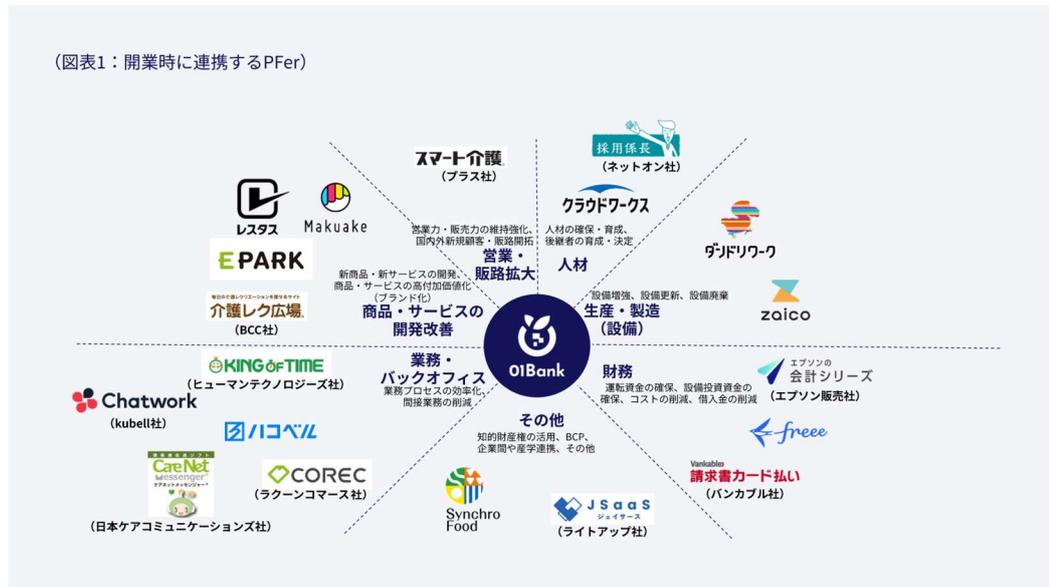
このように、近年、多くの中小事業者が活用するSaaSの利用データは、ビジネスを行う中で生み出された『結果』であり、その実態を可視化できる貴重なものです。したがって、その信頼性は高く、限りなく「エビデンス」に近いものと考えています。

一方で、中小事業者は、必要な時に銀行から借入をしたくても、決算書などの資料準備が煩わしい、忙しくて銀行に出かける時間がない、審査に時間がかかり過ぎるなど、さまざまな不安、不満を持つと共に、面倒なくスムーズに借入をしたい、過去の実績ではなく今の活動実態で評価してほしい、という切実なニーズを持っています。

01Bankは、SaaSを通じて中小事業者のビジネスを支援する事業者（以下、プラットフォーム『PFer』）と連携することで、こうした質の高い「データ」から中小事業者のビジネス上の活動実態を的確に把握し、融資審査を行う際に有効に活用してまいります。

「世の中のビジネスがデータをベースとして回り始めている中、金融だけがその波に乗らないのはおかしいのではないか」、その疑問に答えるべく、01BankはPFerと連携し、PFerが保有するデータを活用することにより、中小事業者の借入に関わるニーズを確実に実現し、その成長を着実に支援してまいります。

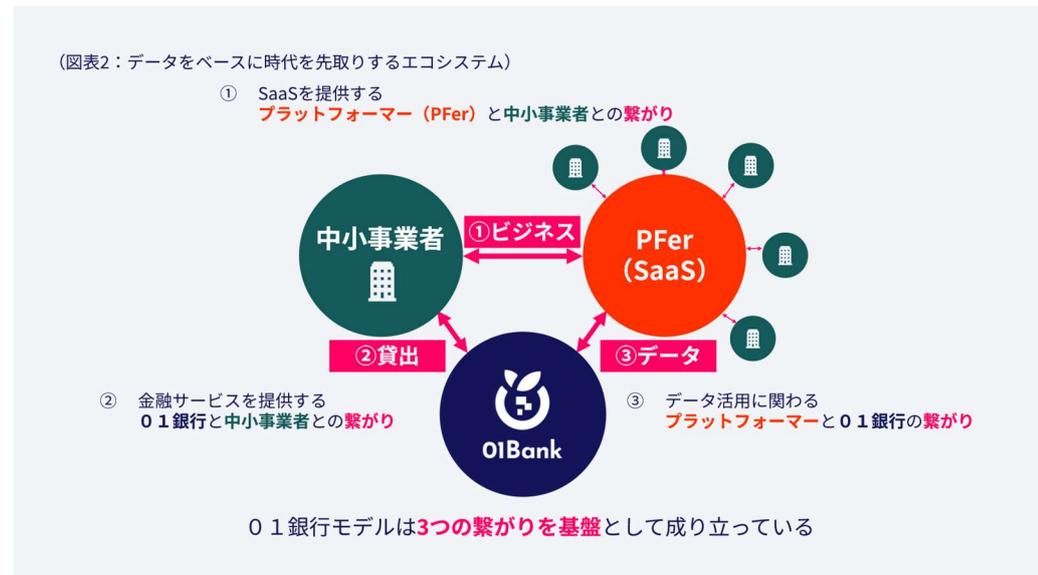
(図表1：開業時に連携するPFer)



2. 事業コンセプト

01Bank のビジネスモデルは、次の 3 つの繋がりを基盤として成り立っています。① SaaS を提供する PFER と中小事業者との繋がり、②金融サービスを提供する 01Bank と中小事業者との繋がり、③データ活用に関わる PFER と 01Bank の繋がり、の 3 つです。中小事業者、PFer、01Bank の 3 者は「データをベースに時代を先取りするエコシステム」を共創します。そのエコシステムの中で、中小事業者は普段ビジネスで利用する PFER のサービスサイト上にあるバナーから 01Bank へアクセスでき、日々のビジネスの延長に 01Bank が存在する、そのような銀行を目指します。

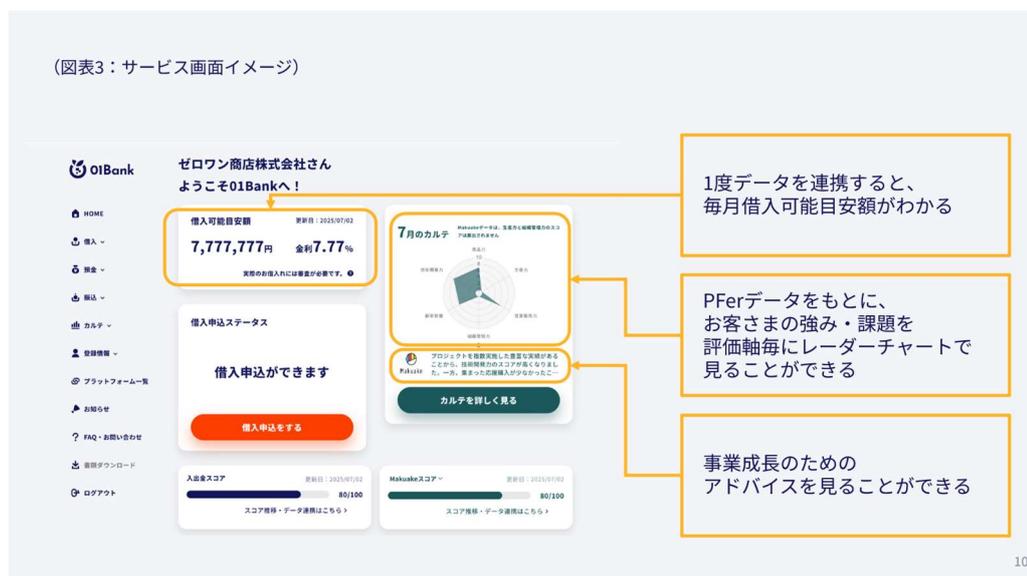
(図表2：データをベースに時代を先取りするエコシステム)



また 01Bank は、過去の実績を映す決算書ではなく、中小事業者の今のビジネス上の活動実態を、PFer が保有するデータで確認し、これを融資審査に有効に活かします。さらには、PFer データを分析して、中小事業者の事業性評価を行います。その長所、課題を

可視化し、レーダーチャートで表示して、さまざまなアドバイスを行うことにより、中小事業者が自らの事業の客観的評価を知る一助とします。

(図表3：サービス画面イメージ)



3. 開業時に提供するサービス

01Bank は開業時、法人のお客さまを対象に、口座入出金データを活用した審査モデルの結果と、PFer が保有するデータの分析結果を総合的に判断し、融資します。

お客さまは、データを活用することで、決算書不要、オンライン完結、最短当日借入れいただくことが可能となり、急な資金ニーズにもご利用いただくことができます。

(図表4：開業時に提供するサービス)

商品種別	証書貸付
対象顧客	法人のお客さま
資金使途	運転資金
貸付金額	10万円以上1,000万円以内（1万円単位）
貸付期間	12カ月以内 元金均等返済で12回返済（借入翌月より返済開始）の場合は、最大13カ月まで可能
返済方法	元金均等返済・期日一括返済
保証人・担保	不要

4. 今後の展望

① 「個人事業主」へのサービス提供

法人化前のスタートアップの方、個人商店を営んでいる方など、個人で事業を営む方々（以下、個人事業主）は、150万～400万人※ほどいと言われており、働き方の多様化にともない、近年その数が増加しています。しかしながら、金融機関は、こうした方々の事業実態を確認することが難しいことから、資金ニーズに充分にお応えすることができませんでした。01BankはPFerと連携することで、お客さまの事業実態を把握することが出来ることから、こうした個人事業主の資金ニーズに積極的に応えてまいりたいと考えております。

PFerの利用者には個人事業主が非常に多く、そうした方々の借入ニーズは非常に高いと思われま。例えば、株式会社クラウドワークスが運営する「クラウドワークス」（オンラインで仕事を受発注できるサービス）で仕事を受注される個人事業主の方々、株式会社ダンドリワークが運営する「ダンドリワーク」（建築現場の施工管理アプリ）を利用されている、いわゆる一人親方の方々など、幅広いお客さまに01Bankのサービスをお届けしていきたいと考えています。

※ 2025年度版中小企業白書

② 独自審査モデルの構築

金融機関では、決算書などの財務データ無くして、融資審査を行うことは、これまでほとんどありませんでした。01Bankは、既存金融機関の審査に活用されてきた会計データに加えて、口座入出金データや質の高いPFerデータを蓄積し、AIによる分析を行い、精度の高い01Bankの独自審査モデルを構築し、中小事業者の信用力、成長性等をより多面的に評価すること※を目指します。

※ 銀行設立準備を進める中で特許取得済7337298（複数のPFerより各PFerのサービスの利用に関するサービスデータを取得し、融資条件を算出する）

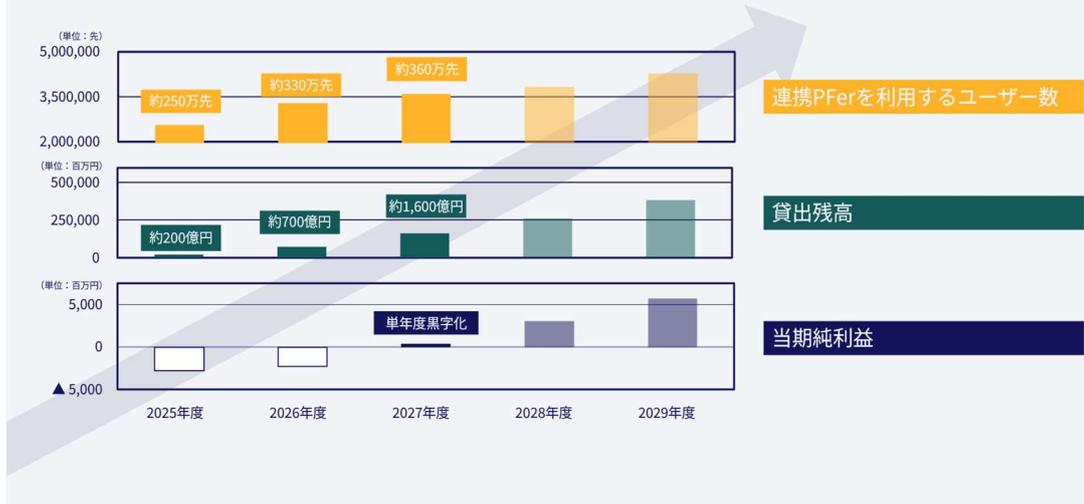
5. 今後の計画

開業時に連携するPFerは20社、その総利用先数は約250万先です。また、データ連携ができるPFerは、そのうち株式会社マクアケと株式会社ZAICOの2社です。

01Bankは、複数のシーンでお客さまと接点を持って、資金ニーズが発生した時にシームレスに01Bankへアクセスできるよう、中小事業者のビジネスをサポートされているPFerとの連携を今後さらに拡大するとともに、より深度のあるサービスを提供できるデータ連携PFerの数を着実に増やしていきます。

今後3年間で連携するPFerは30社程度、総利用先数を約360万先にまで増やし、01Bankのサービスを提供する中小事業者を拡大することで、貸出残高を約1,600億円まで積み上げ、3年目の黒字化を目指します。

(図表5：今後の計画)



■ 会社概要

名称	01銀行株式会社 (ゼロワンギンコウ)
所在地	大阪府吹田市豊津町9番1号 (EDGE 江坂 19階)
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 伊東 眞幸 代表取締役副社長 大塚 篤史
事業内容	中小事業者を対象にしたデジタルバンク事業
資本金及び資本剰余金の合計額	40億円 (うち資本金 20億円)
大株主及び持株比率	株式会社池田泉州ホールディングス 100%
URL	https://www.senshuikedahd.co.jp/01bank/teaser/

本件に関するお問い合わせ先

01銀行株式会社 業務推進部コーポレートデザインチーム 寺田・吉川
 ✉corp_design@01bank.jp